

消防団

な

が

お

か

平成30年11月
編集発行
長岡市消防団

第26回全国消防操法大会

「敢闘賞」受賞

長岡川西方面隊
第19分団

完全燃焼！



平成30年10月19日（金）に富山県広域消防防災センターで、第26回全国消防操法大会が行われました。

新潟県代表として、小型ポンプ操法の部に出場した長岡川西方面隊第19分団が25チーム中11位と大健闘。また、3番員の牧拓磨団員が、各番員で最も優れていた者に贈られる「優秀選手賞」を受賞し、県内初の快挙となりました。

選手の皆さんは、6月に行われた長岡市消防団ポンプ操法競技会、7月の新潟県消防大会を次々と勝ち抜き、全国大会では、新潟県代表として、長期間にわたる訓練成果を十分に発揮し、堂々とした操法を披露してきました。

今回の大会の出場にあたり、選手はもとより、選手を支えてくださった方面隊・分団の皆さん、地域の皆様、そして、ご家族の皆様に改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。



出場選手・出場消防団



指
指揮者
萩野雅輝



1
番員
小林和幸



2
番員
海津雅実



3
番員
牧拓磨



補
助員
雲林重正



| 小型ポンプ操法の部出場消防団 | | | | | |
|----------------|------|---------|-----|------|--------|
| 出場順 | 都道府県 | 消防団名 | 出場順 | 都道府県 | 消防団名 |
| 1 | 山梨県 | 北杜市消防団 | 14 | 群馬県 | 館林消防団 |
| 2 | 奈良県 | 上北山村消防団 | 15 | 兵庫県 | 福崎町消防団 |
| 3 | 京都府 | 南山城村消防団 | 16 | 鹿児島県 | 長島町消防団 |
| 4 | 佐賀県 | 鹿島市消防団 | 17 | 愛知県 | 碧南市消防団 |
| 5 | 岐阜県 | 下呂市消防団 | 18 | 岡山県 | 岡山市消防団 |
| 6 | 島根県 | 益田市消防団 | 19 | 福島県 | 郡山市消防団 |
| 7 | 石川県 | 野々市市消防団 | 20 | 新潟県 | 長岡市消防団 |
| 8 | 千葉県 | 市川市消防団 | 21 | 大分県 | 九重町消防団 |
| 9 | 青森県 | 南部町消防団 | 22 | 滋賀県 | 日野町消防団 |
| 10 | 宮城県 | 石巻市消防団 | 23 | 東京都 | 荻窪消防団 |
| 11 | 山口県 | 山口市消防団 | 23 | 富山県 | 砺波市消防団 |
| 12 | 愛媛県 | 愛南町消防団 | 25 | 岩手県 | 北上市消防団 |
| 13 | 広島県 | 福山市消防団 | | | |

第26回全国消防操法大会を終えて

長岡川西方面隊 第19分団 分団長 赤川義幸

アメイジング19！

方面隊代表になることだけを目標に訓練を開始した初春のころ、全国大会までたどり着くとは、私をはじめ誰も想像したものはいなかったでしょう。

今まで方面隊の代表すらなれなかった第19分団が、春季消防演習で初の長岡川西方面隊の代表になり、その後の市内大会も優勝、そして2番員が最優秀選手賞を受賞。県大会でも各地区支会から勝ち上がってきた強豪たちを退け奇跡の優勝！全国大会の切符を手に入れました。

全国大会では惜しくも優良賞を逃しましたが、11位で敢闘賞を受賞。最も優れている各番員に与えられる優秀選手に3番員の牧拓磨君が選ばれました。まさにアメイジング！！驚きの連続です。

このようになれた理由は2つあると思います。

1つ目は、長岡川西方面隊の技術力の高さと同団結力。

県大会ポンプ車操法優勝の第16分団、方面隊代表常連の第17分団、昨年県大会4位の第18分団。各分団のノウハウが投入され、自分達の分団のように献身的に教えてくださったことが結果に表れたものだと思います。

2つ目は、選手の実直さ。

今年の選手は全て新人。良くも悪くも癖が無く、指導を素直に聞き入れ即実践。がむしゃらに、そしてひたむきに練習してくれました。

今後、強いチームではなくても、やればできる、勝ち上がっていける！と他の分団にも良い参考になったのではないかと思います。これも選手、団員だけではなく、家族の支えがあつての結果だと思います。本当にありがとうございました。

また、大会出場におきましては、団長をはじめ団本部の皆様、地域の皆様、OBの皆様、長岡川西方面隊の皆様、指導者、消防職員の皆様には大変ご尽力いただき心より感謝申し上げます。

最後になりますが、若い者が地域の枠を超えて集まり日々努力している姿は、必ず地域の発展に役立つはずです。これからは地域防災の中心を担う立場として頑張ることがお世話になった方々への恩返しだと思っております。団員一同、心を一つにして邁進してまいりたいと思います。

皆様、ありがとうございました。



長岡川西方面隊 第19分団 指揮者 萩野雅輝

悔しかったです！これまで、本当にたくさんの方々から応援していただき、日本一の指導者のもと、日本一のメンバーで一生懸命がむしゃらにやってきました。当然結果も日本で、それを地元を持ち帰って、応援していただいた皆さんと「一緒に思いっきり喜びを共有したい！」という夢を抱いていましたが、全国大会は甘くなかったです。

やっぱり、悔しいです。悔しい気持ちはありますが、それよりもはるかに、喜びと感謝の気持ちが大きいです。練習する度、声をかけていただく度、応援幕を見る度…等、いろいろな場面で毎日のように幸せを感じることができました。本当にありがとうございました。

自分自身、今まで消防団活動に対しての理解、関心が薄かったです。今回選手をさせていただくことで、規律や団結力、地域の方々とのつながり等々、いろいろなことに気付くことができ、多くのことを学ばさせていただきました。

人生でこんなにも素晴らしい経験ができるなんて…と本当に幸せを感じています。

今回、指導していただいたこと、学ばさせていただいたこと等を自分達の中にとどめておくのではなく、広く伝えていくことも今後の自分達のやるべきことと感じています。

今まで、ご支援ご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございました！！



長岡川西方面隊 第19分団 3番員 牧 拓磨

今年度の選手として選ばれてから振り返れば、あっという間の非常に充実した7か月を経験させていただきました。

初めてづくしで右も左もわからない中、全国大会という舞台に立てたこと、そして、優秀選手として選んでいただけたのは、連日の訓練を支えてくれた第19分団の仲間、長岡川西方面隊の皆様、地域の方々、指導員の皆様のご指導のお陰と大変感謝しております。

時には引っ張ってもらい、時には支え合った最高の仲間達との経験を、今後の消防団活動にも生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

